

「うずらが大好きな子」を育てるために ～学校と家庭と地域が一体となって～

岐阜市立鶉小学校
校長 廣瀬 治良

三つの願い

☆学校の教育目標に迫る子どもに……

ゆたかで たくましい 鶉の子

◇考える子＝（自分で進んで）考える子

【知・自主性】

◇思いやる子＝（仲間と）助け合う子

【徳・社会性】

◇きたえる子＝（ねばり強く）

やりぬく子

【体・創造性】

☆三つの「いいな」を学校で、家庭で、
地域で……

「いいな、いいな、自分って、いいな」
（自己理解・自己有用感）

「いいな、いいな、仲間って、いいな」
（家族・地域の人）
（他者理解・よさの認め）

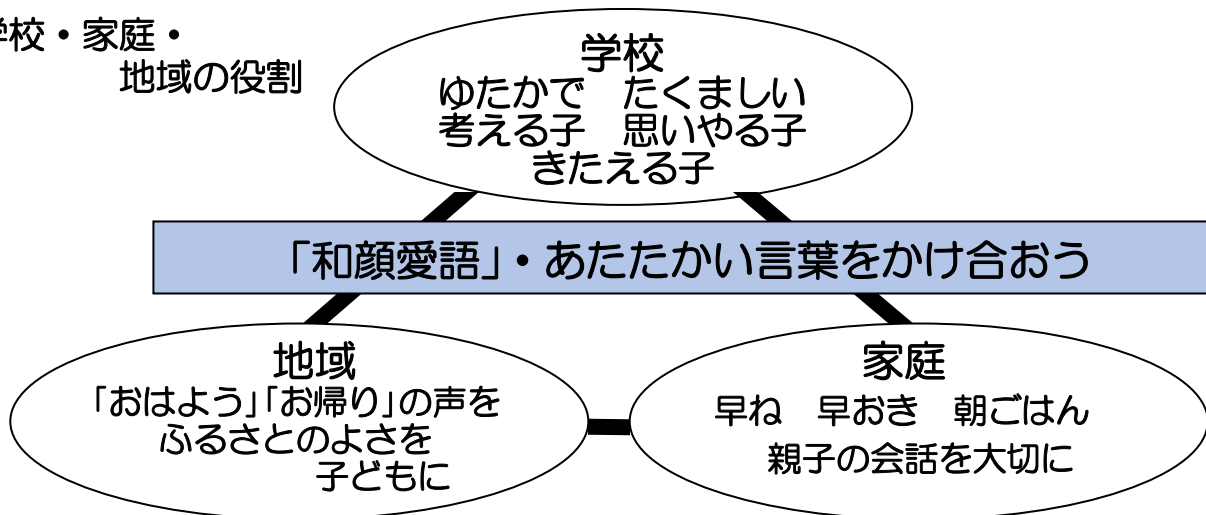
「いいな、いいな、学校って、いいな」
（家庭・地域）
（集団理解・所属感）

☆笑顔がいっぱいの学校（家庭・地域）に……
（子どもたちが 先生が 家族が 地域の方々が 笑顔で）

この「三つの願い」を学校でも、家庭でも、地域でも目指していきたいと考えています。この「三つの願い」について、語り合い、子どもの思いや頑張りを誉めて頂きたいと思います。そのことが、さらなる成長の原動力になります。地域の方々にも、この「三つの願い」については様々な所でお話しています。

学校と家庭、さらに地域が同一歩調で歩んでいくことで、子どもたちの姿は変わっていきます。成長していきます。地域全体が一体感をもって、この「三つの願い」実現に向かっていけたらと願っています。

学校・家庭・
地域の役割



さらに、学校、家庭、地域の役割を明確にしなが、相互が連携・協働して「うずらが大好きっ子」を育てたいと願っています。

そのためにも、それぞれの役割をしっかりと果たしながら、子どもたちに「和顔愛語」で「あたたかい言葉をかけ合う」ことを、学校も家庭も地域も頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。